



# 皆野中だより 2月号



令和7年2月1日発行 第11号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076

\*\*\*\*\*

【校 訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】「主体性」「社会性」「将来性」を培う生徒の育成

【めざす学校像のキーワード】心理的安全性とウェルビーイング

生徒数 1年76名 2年73名 3年85名 合計234名

## 建国記念の日を前に

校長 板倉 邦弘

一年で最も寒いと言われるこの季節、改めて太陽のありがたさを感じています。

去る1月10日(金)、生徒たちの「夢・志発表会」を開催しました。「夢・志」を発表し合い、お互いの夢を応援する場を設けたことは、「夢が叶う人」(詳しくは先月号を参照してください)への第一歩になったと感じています。

さて、今月11日は「建国記念の日」です。そこで今回は、東洋思想家の境野勝悟先生が花巻東高校で行った講演から、目から鱗の話がありましたので紹介します。

### ○外国人から「日本人って何ですか?」って聞かれたら答えられますか?

日本という国名は「日の本」という言葉から生まれました。日は「太陽」のことです。太陽が無ければ私たちの命はたちまち絶えてしまいます。本は「もと」であり、私たちの生命の「もと」である「太陽」のめぐみに感謝をして、太陽のように丸く、明るく、元気に、豊かに生きるのが「日本人」です。元旦に人々が初日の出を拝む理由がここに 있습니다。みんなて明るく楽しく、お互いの才能を認め合って、お互いの主義や主張をよく理解し合って、この共通の太陽の生命を喜び合って仲良く生きていく。それが日本人です。皆野中の校歌も「朝日生まれ、夕日燃える」「陽を浴びて」と太陽が歌われている素敵な校歌なのです。

### ○ヨーロッパ人が憧れる「日の丸」の旗

世界各国の国旗には、それぞれ意味があります。私たちの国旗の日の丸は、太陽の丸です。白地に太陽のマークの日の丸ほどシンプルで存在感のある国旗はないとヨーロッパの人たちはうらやましがるといいます。そもそも日の丸をナショナル・フラッグとして使ったのは、黒船の来航がきっかけでした。「日の丸」は江戸時代から世界に翻って、たくさんの国との親和や和睦のために、世界の使徒として大活躍しました。入学式や卒業式の始めと終わりに一同で礼をするのも、壇上に登った時に大人の人が国旗に頭を下げるのも、太陽である「日の丸」に敬意を表すためなのです。

### ○国歌「君が代」のこと知っていますか?

「君が代」は最も古い国歌としてギネス・ブックに載っています。「君が代」の原歌は古今和歌集に登場する「読み人知らず」の恋の歌です。「私の大切な人の命が、どうかいつまでも長く続きますように」と願う内容です。「君」は天皇様だという解釈もありますが、天皇様は「大君」であり、天皇様だけを指すならば「大君が代」のはずです。「君」は広く天皇様を含めて「私の大切な人」。そんな「君が代」は、海外では「最も美しい国歌だ」と評価されているのだそうです。そんな素敵な歌詞の国歌であることに誇りを持って歌いたいですね。

(参考文献:『日本のこころの教育』境野勝悟 致知出版社)